

研究戦略推進支援 ③研究戦略策定**初級****業績指標**

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応した。

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。

1. 所属組織のミッションに基づき、プロジェクトの候補案件リストを作成した。

上記について、具体的なプロジェクト設置準備に向け、適切な情報収集源、アウトソースを把握した。

2. プロジェクトの候補案件について、ワークショップ等新たな課題発見のための取り組みを通じて、プロジェクトの策定基盤を強化・充実した。

3. 主たるキーワードの提示を得て、異分野や学内外の関連する研究者との連携の拡大・展開を目的とする会議の企画を支援した。

4. 組織改編又は研究拠点形成、研究支援体制構築のため上司等への判断支援を行った。

③重要性**④学内外貢献**

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 組織活動の国内外広報のため、資料作成支援を行った。

2. 担当会議を円滑に実施し、招聘・開催業務の効率化を提案し、学内外で活用された。

3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他**業務遂行能力指標**

以下の条件の能力を有する。

①事業

自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけを理解している。

②知識

1. 政策情報、研究力の調査に必要な所属大学の研究活動に関する知識(研究分野、論文、外部資金獲得状況や特許)の初歩的な事項を理解している。

2. 担当業務に関連する所属大学の主要な方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。

③実務

1. 国内外の政策情報(科学技術分野の大枠の流れ)と研究力の調査方法(研究分野、論文、外部資金獲得状況等の把握、またそれら指標による組織力の把握のための方法)の初歩的な事項(例:実務全体の20~30%程度)を理解し、研究戦略策定に応用することができる。

2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決することができる。

3. 他大学、国内外研究機関との相対的位置づけを含め、研究特性の組織的把握ができる。

④語学

所属組織・分野に関連する英文の科学技術に関連する政策情報、FAレポート等について、最低限の範囲で理解できる。

⑤対人

1. 関係者の説明(例:調査事項や企画の趣旨、目的、ポイント等)を正しく理解することができる。

2. 関係者の信頼を得て、連携し、協働できる。

3. 関係者にわかりやすく説明できる。

4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

研究戦略推進支援 ③研究戦略策定**中級****業績指標**

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

□主担当として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

□1. 所属組織のミッションに基づき、プロジェクトの候補案件リストを作成した。

上記について、具体的なプロジェクト設置準備に向け、適切な情報収集源、アウトソースを把握した。

□2. プロジェクトの候補案件について、ワークショップ等新たな課題発見のための取り組みを通じて、プロジェクトの策定基盤を強化・充実した。

□3. 主たるキーワードの提示を得て、異分野や学内外の関連する研究者との連携の拡大・展開を目的とする会議の企画を支援した。

□4. 組織改編又は研究拠点形成、研究支援体制構築のため上司等への判断支援を行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

□1. 所属組織の研究教育資源の課題検討、調査報告の蓄積により、プロジェクトの候補案件の質向上規模拡大支援につながった。

□2. 研究拠点形成、組織改編、支援体制構築の提案等、関係者が最適な判断を行うための提案・支援を行い、組織改編、研究拠点形成、研究支援体制構築につながった。

□3. 組織改編、研究拠点形成、研究支援体制構築を通じて、関係部署との調整等を行った。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

□1. 後輩(例:初級レベル)と共に研究戦略策定のための会議企画機能の全体像を把握し、役割の文書化と後輩への助言、OJTを行った。

□2. 組織活動の国内外広報のため、後輩(例:初級レベル)と資料作成支援の役割を分担して、助言とOJTを行った。

□3. 担当会議を円滑に実施し、招聘・開催業務の効率化を提案し、学内外で活用された。

⑤その他**業務遂行能力指標**

以下の条件の能力を有する。

①事業

□1. 自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策, 他大学動向の把握を含む)を理解し, 他者(上司, 関係部署, 研究者等を含む)へ説明することができる。

□2. 担当業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。

②知識

□1. 政策情報, 研究力の調査に必要な所属大学の研究活動に関する知識(研究分野, 論文, 外部資金獲得状況や特許)を保有, 理解している。

□2. 担当業務に関連する所属大学の主要な方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。

③実務

- 1. 国内外の政策(科学技術分野の大枠の流れ)と研究力の調査方法(研究分野, 論文, 外部資金獲得状況等の把握, またそれら指標による組織力の把握のための方法)の専門的事項(例:実務全体の60~70%程度)を理解し, 研究戦略策定に応用することができる。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 他大学, 国内外研究機関との相対的位置づけを含め, 研究特性の組織的把握ができる。また当該分野の主たる研究者や大型資金の研究課題の展開を把握していることにより, 研究戦略のため自らの関連分野や研究者を提案できる。

④語学

- 1. 国際会議で, 英語による招聘手続きができる。
- 2. 英語による会議等企画案の作成ができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:所属組織の上司やメンバー, プロジェクトメンバー, FA, 企業等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:調査事項や企画の趣旨, 目的, ポイント等)を正しく理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 関係者にわかりやすく説明できる。
- 5. 関係者(上司, 部下, 研究者)を納得させることができる。
- 6. 時と場合に応じて立場と役割を見極め, 判断, 行動, 支援をすることができる。
- 7. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

研究戦略推進支援 ③研究戦略策定**上級****業績指標**

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

□総括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかのプロジェクト運営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

□1. 所属組織のミッションに基づき、プロジェクトの候補案件リストを作成した。

上記について、具体的なプロジェクト設置準備に向け、適切な情報収集源、アウトソースを把握した。

□2. プロジェクトの候補案件について、ワークショップ等新たな課題発見のための取り組みを通じて、プロジェクトの策定基盤を強化・充実した。

□3. 主たるキーワードの提示を得て、異分野や学内外の関連する研究者との連携の拡大・展開を目的とする会議の企画を支援した。

□4. 組織改編又は研究拠点形成、研究支援体制構築のため上司等(例:諮問会議)への判断支援や提案を行った。

□5. 政策情報等の調査・分析、研究力の調査・分析の情報や、研究者とのコミュニケーション、比較競争力のある学内研究特性を基に、組織の研究教育資源を有効活用した独自の計画案を提案した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

□1. 所属組織の研究教育資源の課題検討、調査報告の蓄積により、プロジェクトの候補案件の質向上規模拡大支援につながった。

□2. 研究拠点形成、組織改編、支援体制構築の提案等、関係者が最適な判断を行うための提案・支援を行い、機能的・体制的に充実した組織改編、研究拠点形成、研究支援体制構築につながった。

□3. 組織改編、研究拠点形成、研究支援体制構築を通じて、関係部署との調整等を行った。

□4. ワorkshop等新たな課題発見のための取り組みを通じて、研究者相互の認識が拡大、深化し、新たな研究組織の設置を支援した。

□5. 政策情報等の調査・分析、研究力の調査・分析の情報、研究者とのコミュニケーション、比較競争力のある学内研究特性に基づき、組織の研究教育資源を有効活用した独自の計画案を提案したことで、組織の研究力強化につながった。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

□1. 後輩(例:レベル初級・中級)と共に研究戦略策定のための会議企画機能の全体像を把握し、役割の文書化と後輩への助言、OJTを行った。

□2. 組織活動の国内外広報のため、後輩(例:初級・中級レベル)と資料作成支援の役割を分担して、助言とOJTを行った。

□3. 担当会議を円滑に実施し、招聘・開催業務の効率化を提案し、学内外で活用された。

□4. 学内における委員として、研究戦略策定に関わった。

□5. 政府の審議会等委員に接触して、国家間レベルの研究戦略策定に関わる調査・分析支援や提言の取りまとめを行った。

⑤その他**業務遂行能力指標**

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 自己の所掌業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策, 他大学動向の把握を含む)を理解し, 他者(上司, 関係部署, 研究者等を含む)へ説明することができる。
- 2. 所掌業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。
- 3. 所掌業務上の課題を発見し, あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②知識

- 1. 政策情報, 研究力の調査に必要な所属大学の研究活動に関する知識(研究分野, 論文, 外部資金獲得状況や特許)を保有, 理解し, 研究責任者に提言できる。
- 2. 担当業務に関連する所属大学の主要な方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。

③実務

- 1. 国内外の政策(科学技術分野の大枠の流れ)と研究力の調査方法(研究分野, 論文, 外部資金獲得状況等の把握, またそれら指標による組織力の把握のための方法)の高度な専門的事項(例:実務全体の90%程度)を理解し, 研究戦略策定に応用することができる。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 他大学, 国内外研究機関との相対的位置づけを含め, 研究特性の組織的把握ができる。また当該分野の主たる研究者や大型資金の研究課題の展開を把握していることにより, 研究戦略のため自らの関連分野や研究者を提案できる。

④語学

- 1. 国際会議で, 英語による議論ができる。
- 2. 英語による会議等企画の取りまとめができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:所属組織の上司やメンバー, プロジェクトメンバー, FA, 企業等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:調査事項や企画の趣旨, 目的, ポイント等)を正しく理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 関係者にわかりやすく説明できる。
- 5. 関係者(上司, 部下, 研究者)を納得させることができる。
- 6. 時と場合に応じて立場と役割を見極め, 判断, 行動, 支援をすることができる。
- 7. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。